

NEW ガラス専用コート剤

汚染防止 **透明感向上**

汚染除去性

SR-361はすぐれた撥水性を物質表面に与えることができますから、水を弾き汚れをこびりつかせません。美しい光沢と透明感を保ち長時間の効果を持続します。

ガラスの表面保護被膜剤 SR-361

●特 性

	規格値	実測値
外 観	無色透明液体	無色透明液体
粘 度 25℃	15 ~ 25	19.0
比 重 25℃	0.99 ~ 1.01	1.00
揮発分 105℃/3hf	5以下	4.10
屈折率 25℃	1.391~1.401	1.396
水素ガス発生率(ml/g)	340以上	356

温度変化や薬品に強い

SR-361は、空気中の酸素によって水素原子が酸化することにより、シロキサン結合による三次元ポリマーに発展し、物質の表面が網状構造でつまれます。疎水性メチル基が外側に向かって水を弾くような構造配置となります。熱(-40℃~300℃)や化学変化にも強く、直射日光や凍結などを防止する効果があります。

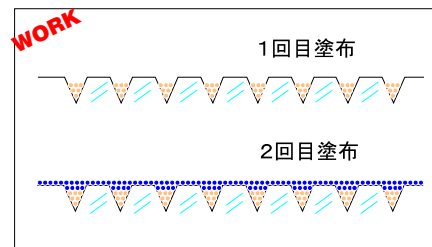
作業時間が半減

SR-361は美しさを保つ工夫が施されていますから、次回以降のメンテナンスが大変やりやすくなります。具体的には汚れを防ぐ効果により作業にかかる時間を50%から、場合によっては80%も減らすことができます。また洗剤の消費量も少なくなりますので結果的にコストダウンにつながります。

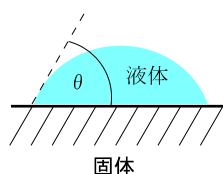
●使用方法

- ①ガラスのホコリや汚れをキレイに落としてよく乾かして下さい。水分があると塗布できません。
- ②キレイな柔らかいネル生地や糸屑の出ないタオル、スポンジに本剤を付け、ガラス面に均一にうすく塗り広げて下さい。
複数回塗り重ねたほうが均一になります。
- ③数分後にカラ拭き仕上げして下さい。夏期は3分、冬期は5分程度が適当です。

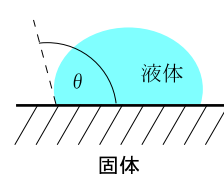
キレイに仕上がると水滴が玉のように転げ落ちます。塗布面に水が溜まるときは被膜が形成されていません。再度塗り直して下さい。



①塗布前



②塗布後



●接触角

接触角とは、空気中にある固体表面上に液体をおいたとき、固体、液体、気体の3相の接触点で液体面に接線を引き、液体を含む側の固体表面に挟まれた角(θ)を接触角といいます。

この(θ)の大小で固体表面の濡れの度合いが測られます。すなわち、このθが小さければ液体は固体表面を広がるため、よく濡れ、大きければ濡れにくくなります。θ>90であれば固体はまったく濡れません。

SR-361の被膜の、水に対する接触角は、90~110、パラフィン約105で共にθ>90です。清浄なガラスの表面は約4程度ですので、**SR-361**の被膜撥水性がいかに優れているかがよくわかります。

内容量1000ml



PASHICA パシカ有限公司

TEL(03)5761-8571 FAX(03)5761-8572

〒201-0012 東京都狛江市市中和泉5-6-20

URL: <http://www.pashica.jp/>

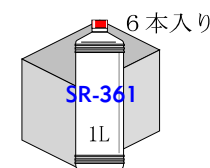
mail: hello@pashica.jp

●使用上の注意

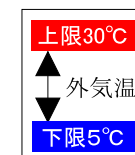


火気禁止

- ①用途以外には使用しないで下さい。
- ②火気の付近では使用しないで下さい。
- ③手や皮膚に付着したときは水でよく洗い流して下さい。
- ④真夏の炎天下やガラスが熱くなっているときには使用しないで下さい。
- ⑤塗布可能温度帯は外気温が30℃以下、5℃以上です。
- ⑥熱線反射ガラスなどの特殊なものには使用できません。
- ⑦高温になる場所や、直射日光の当たる場所には保管しないで下さい。
- ⑧幼児の手の届かない場所に保管して下さい。万が一飲み込んだときはすぐに吐かせて医師の診断を受けて下さい。
- ⑨使用後はキャップを閉じて冷暗所に保管して下さい。



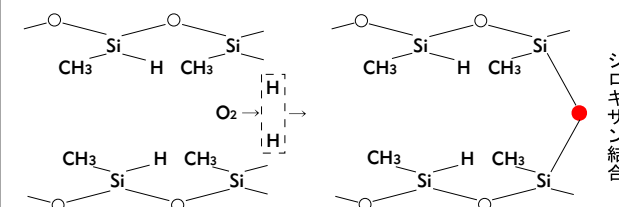
希釈禁止



主成分

メチルハイドロジェンポリシロキサン、イソプロパノール、ミネラルターベン、特殊添加剤

メチルハイドロジェンポリシロキサンの重合機構



空気中の酸素によって水素原子の酸化が起こり、ここにあらたなシロキサン結合ができて三次元樹脂に発展します。各物質の表面がこの網状構造でつまれます。疎水性のメチル基が外側に向かって水を弾くような構造配置となるため、優れた撥水性を物質表面に与えることができるのです。

お問合せは